

ヲツカシ達カニ戦闘大衆組織ノ合法的出現ヲ要望シテキル。
 今ヤ村村一農民問題ハ右翼反動團體カラブルジョアニ至ルマデ
 一應ソレヲ問題トシテ取りアゲネバナライ程重要性ヲ以ツテ
 來タ、昭和六年以後急速ニ進展シタ農村恐慌ハ日本全國ノ津々
 浦々ニ陰鬱ナ影ヲ落シ軍需インフレニヨル工業利潤ノ増加新工
 業ノ發生又爲替低落ニヨル日本商品ノ目サマシイ進出モ農村ヲ
 救済スルドコロカ農村ヲ犠牲ニシテ行ハレテキルノデアツテ農
 村ヲ益々暗ク慘澹タル姿ヲ塗りツブシタル政府ハ之ガ爲メ臨時
 議會ヲ開カザルヲ得ナクナリ緊急對策トシテ農村救済土木事業
 地方低資融通、金錢債務臨時調停法、不動産融資損失補償法、
 農村經濟更生施設等ヲ決定シ更ニ六十四議會ニ於テ米穀統制
 法、農村負債整理法、製糸業法改正等ヲ行ヒ農村救済ニ一步ヲ
 フミ出シタガ併シ乍ラソレ等ノ救済法ハ飽クマデ地主富農本位
 デアツテ農民ノ大多數デアル中小貧農ハ全ク度外視サレ備カ雀

ノ涙ホドノ恩惠ニ浴シタ、併シ恩惠ヨリモ更ニ激シク變ヒ來ル
 恐慌ノ波ハ勤勞農民ヲイヤ難ナシニ深淵ノ中ニ引ズリ込ムニ至
 ツタ、ブルジョア統計ニヨル小作爭議ノ件數ヲ調べルト昭和七
 年二千七百五十二件、全八年三千三百八十四件、昭和九年自一
 月至九月三千九十五件デアツテ八年同期ヨリモ四百五件ノ増加
 ヲ示シテキル、此ノ現象ハ一体我々ニ何ヲ教ヘルカ、政府ハ巨
 万ノ金ヲ費シタ農村救済モ救済ドコロカ農村ハ一路惡化ノ嚆
 シテキル、地主ノ經濟疲弊ニヨル土地ノ賣却競賣小地主ノ自給
 開始、小作農ノ年貢減免等ヲ著シク増加セシメ階級對立ハ尖銳
 化シテキル、カ、ル農村窮乏一階級對立ノ激化ニ更ニ拍車ヲカ
 ケルガ如ク突發シタノハ去ル九月二十一日ノ風水害デアル。
 既ニ本年ニ入ツテ以來東北ノ水害並冷害、九州、四國ノ旱害、
 北陸ノ水害等ヲウケ農村經濟一層ノ惡化ガ傳ヘラレ、備カ近畿
 地方ノ若干天災ヲ免カレテ成熟ノ秋ガ待望セラレテキタガ矢先